

一般質問通告書一覧表

令和5年12月12日招集
第30回嘉手納町議会定例会

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	5番 花城勝男	1. 嘉手納町 財政を問う	<p>2023年9月定例議会で、コロナ禍3年目の2022年度嘉手納町決算が審議された。過去5年間の町行政の年間平均経常黒字は12億4千万円であり、財政評価である実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債比率、将来負担比率において全て健全な状況であった。しかしながら、町民の受益と負担のバランスに課題があり、類似団体（金武町、恩納村、宜野座村、本部町）との比較で嘉手納町財政の各種決算から見ると、税金が有効活用されているのか、全体として適正なのか疑問を感じる。特に基金への積立が多く、町民への補助率が少ないことがデータ実績で示された事を行政と議会、町民で共有したい。財政の基本は『必要な歳出に応じて歳入が確定される』である。しかし、町財政はこれまで『歳入の範囲内で歳出を組む』で、結果的には経常収支比率75%の歳出決算となった。経常収支比率の理想は70%~80%の間である、それが財政の健全化に繋がり町財政に取っては最良でも、町民に取っては類似団体と比較すると、税金が有効活用されておらず、税金の適正な最適再配分にはなっていない。</p> <p>必要な人口増対策事業、補助事業等、やるべき住民サービスの歳出に応じて歳入が確定される事が正しい考え方である。今まで25年間継続した経常収支比率75%の財政運営を改めて、今後は経常収支比率80%の財政運営に方向転換する事を求める。80%の財政運営を実施する事により、『約2億1千万円』の一般財源の有効財源が確保され、子育て支援事業や人口増対策事業、その他の財源に充てる事が可能になり、適正な基金積立も可</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	5 番 花城勝男	1. 嘉手納町 財政を問う	<p>能になる。以下を問う。</p> <p>(1) ①2022 年度決算の基金に積立てた基金額は。また、累計総額の積立基金額は。②2022 年度余剰金で 2023 年 5 月基金積立に表示する総額の基金額は。③2022 年度単年度決算と 2023 年度決算の 2 年にまたがって目的基金に積立に充てる理由は。</p> <p>(2) 国は 2022 年度末残高の積立基金 16 兆円の点検、検証、見直しに取り組むと 11 月に表明しているが、嘉手納町財政 2022 年末残高の過剰積立基金 131 億 4 千 3 百円の点検、検証、見直しに取り組む事ができないか。</p> <p>(3) 嘉手納町と類似団体（金武町、恩納村、宜野座村、本部町）との 2021 年度決算実績の歳出額に占める 1 人当たり年間補助費額（率）比較は。</p> <p>(4) 嘉手納町と類似団体（金武町、恩納村、宜野座村、本部町）との過去 11 年間、2021 年度迄の歳出額に占める 1 人当たり年間補助額（率）は嘉手納町が 94,700 円（13.4%）、恩納村 153,644 円（16%）、金武町 214,983 円（22.9%）、宜野座村 292,337 円（23%）、本部町 76,091 円（11.5%）である。過去平均決算のデータ補助額（率）の課題と改善点は。</p> <p>(5) ①大型ハード事業 10 施策の完了決算総額と財源内容は。今後の予算総額と財源内容は。②今後、大型ハード事業 10 施策に必要な目的基金の総額は。また、現在の目的基金の総額は。③目的基金はハード事業以外のソフト事業に使えるのか。</p> <p>(6) 基地負担傾斜配分交付金、年平均 4 億 9 千 8 百万円の歳入が 1997 年からスタートした。1994 年～1996 年までの経常収支比率平均は 83.8%であったが、1997 年～2021 年までの 25 年間平均経常収支比率は 75%であった。①1997 年時点～2021 年までの 25 年間、経常収支比率が 75%台になぜ、維持され続けたのか主な理由は。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	5 番 花城勝男	2. 人口減少 対策住環境 検討業務報 告書と人口 増対策を問 う 3. エイサー まつりを問 う	(6) 人口減少対策住環境検討業務報告書を①嘉手納町広報でのPR②ホームページでの告知③町民に対して説明会を実施できないか。 (7) 2028年度人口目標1万4千人必達のために、補助費事業の再提案として、①小中義務教育の完全無償化対策（財源1億2千2百万円）の実施②0歳から2歳までの所得制限なしの完全無料化と副食費無償化対策（財源5千5百万円）を2024年度より実施できないか。 (1) 行政として、2023年度エイサーシーズンが終了しての課題と改善点は。 (2) 過去の先輩達が築いた嘉手納町旧暦7月16日道ジュネーエイサーまつり（総来場約7千人規模イベント）を2024年度は、イベント会社に予算300万円程度で委託①南区サンエー通り（旧むつみ通り）では出店イベントゾーン②エイサー演舞まつりゾーンは新町通りで開催できないか。	町長 當山 宏
2	12 番 金城利幸	1. 防錆整備 格納庫建設 問題・岩国基 地施設視察 の動向は	本年9月定例議会の一般質問で「防錆整備格納庫建設問題」の関連事案の提案に対して以下の答弁を受けており、その再確認と事態の進展遂行を求めたい。 當山町長には①議会②町基地対策協議会総会③自治会長会（各区民の代表）④沖縄市長⑤北谷町長⑥沖縄県知事へと「防錆整備格納庫建設問題の町の対応」としての説明に尽力を頂きました。 以下9月の一般質問の質疑応答内容を再確認する。町の見解は「手作業で小規模な作業を行うシンプルな施設」として国（防衛省・外務省・環境省のスタッフ）が確認したことで「安全性等の懸念は大幅に緩和されたと考えて尊重したい」と説明。しかし不安は残り容認はしないとの表明。 その説明の根拠として令和5年4月の防衛省及び外務省の職員による町への説明の中で「米側か	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸	1. 防錆整備 格納庫建設 問題・岩国基 地施設視察 の動向は	<p>ら実際の防錆作業や環境対策について関係者により適切に理解して頂く目的から、嘉手納町を代表するしかるべき方々に岩国飛行場に所在する防錆整備格納庫について、施設の運用や訓練の所要を考慮の上で、視察の機会を提供する旨の意図の表明がある」としている。</p> <p>そこで国が視察確認した岩国基地（山口県）に所在する同種の防錆整備格納庫について町として現場検証視察（国の説明の事実確認）の実施は町の責務のひとつではないか。議会では視察を決定し予算計上提案をしている。</p> <p>當山町長の答弁は、「町としても安全対策や、作業が本当に小規模なものかなど、日米で確認された協議事項を確認したい」として、マスコミでも報道されている。</p> <p>以下関連事案を伺い、議会においても必要に応じて対処したい。</p> <p>(1) 9月定例会での議会の視察予算が認定され、この後、議会では早速、仲村渠議長が議会の視察申し入れを実施するも防衛局からの明快な説明回答もなく今日まで時が経過している。そこで當山町長の町としての視察申し入れの状況経過と現状を伺いたい。</p> <p>(2) 嘉手納基地への無人偵察機MQ9 配備(1機)の前日の10月12日には三連協（市長・町長・議長）の岩国市訪問視察があったが、その際に合わせて当施設の確認ができなかったのか。その時の状況を伺いたい。</p> <p>(3) 錆落としや再塗装は機材とスプレー塗装を用いて手作業で行う。手のひら2つ程度以下の面積の修復しか基本的に予定しておらず、それより大規模な修復は本国にて実施。</p> <p>スプレー缶・手のひらサイズ・手作業で小規模な作業を行うシンプルな施設との説明は文字と言葉の羅列だけでは理解不能。</p> <p>せめて視察実現まで「現場や現物の写真や動</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸	2. 無人偵察機MQ9の強制移転と町長の基本姿勢を伺う	<p>画など」での説明はできないのか。しないのか。町を説得・理解させた前説を担保するためには丁重な説明はないのか。視察は可能か不可能か、なぜ時間がかかるのか理解不明。町長の所見を伺いたい。</p> <p>さる10月30日、嘉手納町議会は「無人偵察機MQ9配備計画に抗議する」決議・意見書を可決し、その後、沖縄防衛局、外務省沖縄事務所、県庁、米軍嘉手納基地第18航空団への要請行動を実施した。</p> <p>同時期に當山町長も「安全性に不安」「受忍限度を超える運用がなされている嘉手納町では受け入れる状況には、現時点ではない」との考えを明らかにし、町の姿勢を明快にコメントしたのは初とすることが報道で明らかになった。</p> <p>一連の状況に関連して以下伺う。</p> <p>(1) 新聞報道での當山町長の決意コメントについて改めて町民に対しての思いを含めて、今定例議会の場で改めて伺いたい。</p> <p>(2) 町議会の要請先でMQ9の過去事故事例の状況の問いに対して、説明として①沖縄防衛局は「米軍は300機を有している。国外で墜落事故を数件起こしたことは承知しているが詳細は不明」②米軍嘉手納基地第18航空団で対応した広報部長は「事故についての情報はない。これまで事故はない。どこの情報か。MQ9は心配ない」と防衛局の説明に理解ができないとの対応。</p> <p>報道によると2022年3月24日の参院外交防衛委員会で英国の調査団体が公表した無人機墜落事故の情報では2007年以降、各国のMQ9の事故は「少なくとも72件上がる」と指摘。2020年9月にはクウェートの軍基地で着陸時に衛星通信を失って制御不能となり滑走路を外れる事故もあった。過去に国外で基地の外に墜</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸	2. 無人偵察機MQ9 の強制移転と町長の基本姿勢を伺う 3. 比謝橋の下を通れる遊歩道接続でさらなる利便性と好感度アップを実現せよ	<p>落事故も発生。</p> <p>この沖縄防衛局と嘉手納基地第 18 航空団の事故情報の実務的説明に強い違和感を禁じ得ない。この一連の事案説明に町長の所見を伺う。</p> <p>(3) 鹿屋市と九州防衛局は事前に住民説明会を実施。騒音を含めMQ9 及び米軍関係者の事件事故の未然防止と発生時は国の責任で適切に対処する。現地連絡所を設置し住民の安全安心の確保に努めるとする協定書の締結を実施。その一方で嘉手納基地周辺市町への対応はあまりにも事務的・機械的ではないだろうか。</p> <p>海上自衛隊鹿屋航空基地と嘉手納米軍航空基地のそれぞれの基地周辺に暮らす人々の「安心安全そして命と人権に違いがあるのか」人道上あってはならないと断じざるを得ない。この一連に関しても町長の所見を伺いたい。</p> <p>比謝川の氾濫による被害防止の目的としての事業「比謝川下流堰撤去工事」は工事開始の令和 4 年 4 月から終了の令和 6 年 10 月まで本年 12 月現在であると 10 か月となった。工事前の町民説明会では（問 1）工事後の屋良城跡公園付近の推測水位は。土砂や堆積物は。カヌー・カヤックの使用往来は可能になるのか。（答 1）堰撤去後は屋良城跡公園付近まで海水が入ってくる。水位は 30cm 減の予想。（問 2）今回の工事で古き時代の比謝川景観・環境美化の再生を。（答 2）検討課題としたい。等の提案・質疑応答があった。</p> <p>概ね堰は撤去され上流下流の水深を含めての現況調査など工事の進捗状況について町としては当然確認していると認識する。そこで以下伺いたい。</p> <p>(1) 現在の進捗状況。</p> <p>(2) 堰撤去後の現在の水位の現状：水深干潮・満潮時。</p> <p>(3) 私も令和 4 年 3 月定例会の一般質問で「比謝橋の下を通れる遊歩道接続でさらなる利便性と</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸	<p>3. 比謝橋の下を通れる遊歩道接続でさらなる利便性と好感度アップを実現せよ</p> <p>4. 屋良城跡公園リニューアル計画と現況の比謝川環境整備・安全対策を問う</p>	<p>好感度アップを実現」を提案した。内容は赤橋から続く遊歩道で比謝橋の下を潜り抜け屋良城跡周辺までの自然散策の実現。本町の「まちづくり構想（概要版）」ではカヤックなどの自然体験やウッドデッキを活用した散策、比謝川周辺の自然を学習するエリアも提案されており、嘉手納町の新たな観光拠点の創出を検討している。提案の比謝橋の下を通れる遊歩道接続をウッドデッキを含めて実現してほしい。</p> <p>本年 11 月に入り比謝川下流堰撤去工事の影響調査で上流水位（満潮時と引潮時）の確認をしたところ①屋良城跡施設の落書きや②川面を覆う雑草に不快感と不安感があり「安心安全なまちづくり」を本町のコンセプトとすることから、次の点が気になり以下その改善対策を求めて伺う。</p> <p>(1) 城跡公園再生計画の事業の概要と特徴。 (2) 事業の経過状況と今後完成までの工程の概要。 (3) 住民説明会とパブリックコメントの概要。 (4) 本事業完成までの現況の比謝川環境整備と安全対策の必要性を求めての提言。</p> <p>①比謝橋から城跡公園までの遊歩道は植栽の整備が行き届いている。その一方で河川沿いの雑草密集化で川面がみえない。YOU・遊・比謝川でのイカダ競争現場とその周辺でも川面が見えない。立ち入り禁止の表示はあるが、極めて危険な環境のイメージが強く、事件事故の不安も否めない。</p> <p>城跡公園再生計画の事業完成時まで放置することなく常に安心安全の環境確保を求めることから適時な除草・衛生安全対策を実施すること。</p> <p>②町と県の管理責任の対応実施の問題点はあるか。 ③落書きが町内外施設で荒廃状況。本町の警告</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸		表示の強化と条例制定の検討。(地域情報連携体制)	町長 當山 宏
3	10 番 照屋唯和男	1. 嘉手納町人口減少対策住環境検討業務に対して問う	<p>(1) 人口減少を取り巻く現状や要因課題を町はどのように認識しているか。</p> <p>(2) 定住促進事業・リフォーム助成事業の見直しとあるが評価として人口増に貢献されてきたか。公共施設等総合管理計画書の中からは世帯数は各自治体で増となっているが人口は減となっている。その分析はされたか。要因は何か。</p> <p>(3) これまで子育て世帯に向けた住宅所得支援はどのように検討してきたか。また、2 世帯住宅推進補助金、子育て世帯向けの家賃補助を今後どのように取り組んでいくと考えているか。</p> <p>(4) 低未利用地の活用促進（ランドバンク事業）内容についてどのような事業か。(令和5年度実施予定) 低未利用地の活用促進（ランドバンク事業）町の考えている地区や取り組みは。(小規模連鎖型区画再編事業) モデル地区として中央区のリパロ周辺・古謝商店の周辺が、地主からの相談等具体的な動きがあるように見えるが、いつ頃から動きはあったのか。調査されているように報告があるが、事業計画書は作成されているのか。</p> <p>(5) 土地の有効活用として防衛局の買い上げた土地を公園や駐車場と交換していくことを検討されているとあるが、具体的に屋良第二公園等、あしびなーが計画され案として挙げられているが内容は。また、候補地で大規模敷地の活用として県営住宅の向い土地住宅(株)の製糖工場跡、サンシャイン水釜店が出されているが見通しは。</p> <p>(6) 久得地、町民の家周辺の原野地域の間を住宅整備し有効活用する計画ができないか。提案していたが同様に考えていけるか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	10 番 照屋唯和男	1. 嘉手納町 人口減少対 策住環境検 討業務に対 して問う	<p>(7) 住まいのコンシェルジュの必要性を示しているが計画内容は。</p> <p>(8) 嘉手納町の魅力は他の市町村と比較して人口増に向け住みたい、住んでよかった町の良い所とされることは、担当課としては何があげられるか。</p> <p>(9) 魅力ある町づくりには町に入る基地関連交付金の多くをそこで生活し暮らす人のために使ってほしい。例えば他の市町村では廃止になることが多いが、嘉手納では敬老祝い金も今より倍に上げ元気に頑張る高齢者の楽しみ励みになる施策や若者支援のうち家賃補助も取り入れてほしいと思う。さらに広く一般の町民へ還元していく方法を基地被害を受ける町民へ代償が基地関連交付金と思う。今現在ほとんどが建築関連に当てられていると思う。一般財源に組み込まれていくのであれば町長の判断次第でできるのでは。</p> <p>(10) これまで限られた土地で居住地を建築していくうえで嘉手納町としては、高度利用と駐車場問題に取り組まないといけないと人口増につなげるためにはそこが必要だと思い、その辺の検討と必要性に関する質問に課長は、まずは公共駐車場の在り方について考えさせていただきたいと答弁している。</p> <p>基地との関連から防災上の避難所、高度利用するうえで、要するに地下駐車場みたいなものを造るべきではないか。商工会からも提案書も出ていると思うが、国から補助金をうまく引き出すノウハウを研究していけないか。</p> <p>(11) 今現在進行している旧国映館土地周辺で動き出している優良建築物等整備事業で協議会も立ち上がっている所へ町の協力を強く望む。町長も公約で取り組むといわれている。駐車場問題がネックとなっていると聞くが、窓口としてなかなか軌道に乗せていない県へのアプローチ</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	10 番 照屋唯和男	2. 保育所運営計画をどのように考えているか	<p>を強く求める。一つ良い事例となり、今後大きく町が変化するきっかけなると思うが担当課としての取り組み状況は。</p> <p>(1) 待機児童の解消を目的に建て替え事業を推進しており、令和6年4月には全体供用開始する予定であると第二保育所については効率的な保育所運営を図る観点から、民営化を推進することとしている。令和7年度取り壊しまでの現段階での内容を聞く。現段階での内容、それに至る経緯を伺う。 令和5年度募集の際に申込者へ次年度閉所していく計画の説明はあったか。</p> <p>(2) 建て替えや、民営化の方法も公設、民設などいろいろあるが、その辺の方法についても、今後の検討委員会の中でどのような方法があるか、用地についてもどうするか、既存の場所にそのまま建てるのかなど、いろいろな方向性を今後の課題として検討していきたいと考えているとあるが、検討委員会ではどのように協議されてきたか。また、現場の保育士は閉所について知っていたか。今後の保育士の活用は。 認可保育園への説明会では町の担当課からも参加して状況把握しているか。</p> <p>(3) 当初の計画では保育量のニーズは増えていくと想定していたと想定との読み違いの原因は何があげられるか。想定と違いニーズ量が減少したことの要因は何があると考えられるか。</p> <p>(4) トワイライトステイ事業とか、そういう特殊な事業も入っているが、それも含めて、将来的に民間のやり方があってと答弁があった。その後の取り組みはどうなっているか。</p> <p>(5) 第二保育所は令和7年度廃止までどのような形で運営していくのか公立の現状の職員で運営していくのかどうか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	4 番 志喜屋孝也	<p>1. 兼久海浜公園・水釜海岸護岸全般を問う</p> <p>2. 過剰包装へ町のこれからの取り組みは</p>	<p>(1) 水釜第二団地C棟近くの護岸の階段にスロープと海浜公園までの護岸にスロープの設置と東屋の設置・クッション材アンツーカー設置を。</p> <p>(2) 公共トイレの設置を。</p> <p>(3) 護岸壁の落書きの問題。(違反の看板設置) 犬の糞の飼い主への注意看板。(英語・日本語)</p> <p>(4) 管理事務所の仮看板の設置を。</p> <p>(5) 公園駐車場の白線再塗装を。</p> <p>(6) 公園利用者以外の駐車はないか。</p> <p>(7) 駐車場から公園へのスロープ前に駐車禁止の表示を。</p> <p>(8) 公園入口からテニスコート入口までを仮駐車場に。(体育館工事のため駐車スペースが少ないため無理な駐車が目立つ)</p> <p>(9) ネーブル側の駐車場のカラーコーンは工事関係者の駐車場か。</p> <p>(10) 公園への健康遊具の設置を。</p> <p>(11) 公園内の船外機の不法投棄は。</p> <p>(12) 公園内の仮事務所近くの壁のペンキはがれとクッション性のアンツーカーを公園内に一周の設置は。</p> <p>(13) 街灯の照明切れと暗くするネーブル側の高木の対応。</p> <p>商品が、必要以上に紙や発泡スチロール等で包まれていることを過剰包装という。</p> <p>(1) 町民への周知を図り過剰包装を断りごみの減量化へ町の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 商工会へ提案し商店街への過剰包装へのアンケートを実施し対策を。</p> <p>(3) 多摩市では、各小学校に出張して環境出前教室を実施。ごみのゆくえや分別・減量の方法について写真やグラフを使ったスライドショーを用いてわかりやすく説明する。本町小学校への取り組みを伺う。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	4 番 志喜屋孝也	3. 嘉手納の偉人野國總管ゆるキャラか、ぬいぐるみの作製を	嘉手納の偉人、野國總管の知名度の向上と町民に愛されるゆるキャラ作製か戦国時代の武将並のイケメンぬいぐるみの作製を提案し、行政の考えを伺う。	町長 當山 宏
5	8 番 安森盛雄	1. 町内の不登校について問う 2. 町内の生徒指導状況を問う 3. 動物虐待を問う	(1) 各学校の不登校の人数は。 (2) 30 日以内の不登校の人数は。 (3) 不登校の原因は把握しているか伺う。 (1) 各学校の生徒指導状況は。 (1) 町内での動物虐待の現状は。	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
6	7 番 古謝友義	1. 物価高に対する支援策を問う 2. 安心、安全なまちづくり	電気、ガス、ガソリンや食料品等の高騰により、町民の生活は苦境に立たされている。来年からは水道料金の値上げも決定しており、県企業局も値上げの動きがある。そこで町ができる支援策を問う。 (1) 時限的に、ごみ袋の値下げはできないか。 (2) 来年度の野國總管商品券のプレミアムを30%以上にできないか。 (3) 葬斎場使用料を建て替えまでの値下げは検討できないか。 (4) 最近の航空機騒音は町域すべてに及んでいる。そこで住宅防音空調施設維持管理費を、現在恩恵を受けていない世帯に年5千円の給付はできないか。 (5) 町営住宅の家賃減額は検討できないか。 嘉手納小学校に続く歩道の拡張工事が具体化していると聞く。そこで以下を問う。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	7 番 古謝友義	<p>くりについて</p> <p>3. 住宅事情について問う</p>	<p>(1) 旧水釜交番より西側の歩道幅は極端に狭い。子どもたちの通学路になっており、早めの対策をして欲しい。</p> <p>(2) 西区自治会の北側は密集市街地になっており、災害時の対応が厳しい場所である。解決策は考えているか。</p> <p>(3) 町道 48 号線と水釜・大木線が交わる交差点におゆずりエリアを作れないか。</p> <p>(4) 町道 73 号線の落石対策は考えているか。</p> <p>(5) 最近いたるところで、落書きが増加している。対策は考えているか。</p> <p>人口減少対策について、いろいろ議論を重ねているが、増やす施策はないかも考える必要があると思う。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 水釜第二町営住宅の安全祈願祭も済み、着工が始まった。既存の施設よりも 26 戸程増加している。現在町営住宅の入居希望者の人数は何名か。</p> <p>(2) 民間の賃貸住宅の空き情報は把握しているか。</p> <p>(3) 町営住宅に住んでいる 65 歳以上の独居高齢者を、専用集合住宅を建築することにより、問題解決になると思うが見解を問う。</p> <p>(4) 町として町内の宅地を代替え資産として取得する考えはあるか。</p> <p>(5) 町指定の霊園以外にたくさんの墓が点在している。整理して住宅地として活用できないか。</p>	町長 當山 宏
7	2 番 福地義広	1. 嘉手納基地パループ内への防錆整備施設建設計画について	<p>(1) この問題について、再度広報かでな 10 月号に記事が掲載された。その意図について伺う。</p> <p>(2) 前議会において、當山町長は行政懇談会で、防錆整備格納庫問題について質問等があれば回答すると述べた。行政懇談会は 10 月 30 日の北区を皮切りに 11 月 30 日まで実施された。各区行政懇談会でどのような意見、質問などが出さ</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	2 番 福地義広	2. P F A S 汚染への町 の対応につ いて	<p>れたか伺う。</p> <p>(2) (1)の質問に対してどのように応えたのか伺う。</p> <p>(3) これまでの広報かでの記事掲載や行政懇談会によって、防錆整備格納庫問題について町民の理解を得られたとお考えか。</p> <p>(1) 米国におけるP F A S規制について、米国環境保護庁は、P F O A・P F O Sの健康影響を認め、米国内の環境基準各 4ng/1 を提案した。これを受け米国政府は環境基準 4ng/1 に法的拘束力（違反者へ罰則を科す）を伴う法律を議会へ提案し、本年 12 月までに法律を制定し、3 年後の 2026 年 12 月に施行予定と聞いている。米国で進むP F A S規制状況について町当局は把握しているか。</p> <p>(2) P F O A・P F O S等の健康影響について米国内で多数の裁判が提起され、被告企業（デュポン、3M等）がその責任を認め（但し法的責任を認めるまでには至っていないという）問題解決のための資金拠出和解に応じている。この状況は町当局は把握しているか。</p> <p>(3) P F A Sによる町内湧水等の汚染状況は、県の有機フッ素化合物環境中実態調査にも明らかなおり深刻である。これを前提として米国の状況について、町はどのような見解を持っているか。</p> <p>(4) 日本政府は国内のP F A S基準値を 70g/1 から 50ng/1 に下げ規制強化した。さらにP F A Sに対する総合戦略検討専門家会議を立ち上げ規制のあり方について検討中であると聞いている。現時点における国の規制の動きはどうなっているのか伺う。また、これに対する町の見解を伺う。</p> <p>(5) 県の実施した町内水質・土壌調査の進捗状況及び結果の公表時期について伺う。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	2 番 福地義広	3. 嘉手納町 人口減少対 策について	<p>(1) 嘉手納町人口減少対策検討報告書 16 頁には嘉手納町の土地特性として「第 2 次大戦における米軍の沖縄本島最初の上陸地となり、焦土と化した。宅地や農地は基地に姿を変え、町域の 82% が接收され、住民は残り約 18% のわずかな土地での生活を余儀なくされ、今日に至っている」と記載されている。人口を増やすためには生活空間及び雇用創出のための空間確保が重要であることは議論を待たない。町内土地の有効利用はもちろんであるが、米軍基地の返還、共同利用等の有効利用策の策定も必要と思われる。しかし、今回の検討作業の中では米軍基地を活用した住民利用空間の拡大には触れていない。なぜか。</p> <p>(2) 第 5 次嘉手納町総合計画(前期基本計画)第 2 章土地利用構想(33 頁)には「土地利用を実現するために、市街地に接する軍用地の一部返還又は共同使用に取り組むとともに、米軍用地返還の見通しなどを踏まえ、計画的な利用・転用の検討を進めるものとします。」と明記されている。今回の人口減少対策作業と総合計画との整合性について伺う。</p> <p>(3) 嘉手納町の平成 5 年 10 月末現在人口で計算した 1 km² 当たりの人口密度は 862 人/1 km²、うち米軍基地を除く住民地域の人口密度は 4,788 人である。嘉手納町面積の 82% を基地に取られている結果、人口密度は 5 倍強となっている。この状況について、町としてどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(4) 基地の返還に向けて、例えば神奈川県相模原市が設置している米軍基地返還促進等市民協議会のような機関を設置し、基地返還に向けての町の考え方、要望などを取りまとめることを提言したい。町の見解を伺う。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	2 番 福地義広	4. 嘉手納町 教育に関する 意識調査 報告書につ いて	<p>嘉手納町教育振興基本計画策定調査業務の一環として作成された報告書を読ませていただいた。その内容について伺う。</p> <p>(1) 子どもたちを取り巻く教育環境についての意識調査・アンケートへの回答の中で、嘉手納基地から発生する爆音や排気ガス等の子どもたちに与える影響についての記述がない。これは爆音や排気ガスなどが子どもたちの教育環境に影響を及ぼさないと嘉手納町民や教員等が認識していると理解していいのか。</p> <p>(2) 報告書 200 頁には嘉手納町の指定文化財について記載されているが、そのうちの記念物・史跡に指定されている屋良のメーガーやシリーガー等については P F A S 汚染により水源の使用が禁じられている。この現状を憂慮するアンケート回答はなかったか、伺う。</p> <p>(3) 第 5 次嘉手納町総合計画【前期基本計画】の基本目標には地域の歴史・文化に誇りを持ち、学び続ける魅力ある人づくり(教育・文化)とある。(2)の状況を教育委員会としてどのように考えているのか、伺う。</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
8	3 番 仲村 一	1. 比謝川沿 いを問う	<p>(1) 国道 58 号近くの比謝川の堰の撤去が進む中、比謝川の水位が 2 メートル近く下がって川底の姿が見えるようになった。比謝川沿いの遊歩道は国道 58 号の所で、比謝川の堰の近くから旧中央公民館の所まで途切れている。</p> <p>今後、屋良城跡公園のリニューアル工事も控えている中、水位が下がっている現在、屋良城跡公園へのアクセスの利便性の向上を考えると、遊歩道をつなぐタイミングだと思うが今後どのように考えているか。</p> <p>(2) 比謝川自然体験センターの建設に伴い東屋の整備等も行われ県営住宅から東側の遊歩道に降りていくスロープもきれいにカラー舗装された。見た目も綺麗になったが、雨天時に滑ると</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	3 番 仲村 一	<p>1. 比謝川沿いを問う</p> <p>2. 乳がん検診について</p> <p>3. ごみ行政を問う</p>	<p>ころがあると聞く。実際私も犬の散歩の時によくそのスロープを利用するが、雨降り跡や雨天時に通ると滑るところが何か所かあった。せっかく綺麗に整備したが、そのスロープを利用する方が怪我をしたら整備した意味がない。少し粗目のアスファルトに替えるべきだと思う。現在までに滑って転んだ等の声はなかったのかも併せて今後の対応を伺う。</p> <p>(3) 比謝川沿いの漁港からマルチメディアセンター間に令和元年の3月議会で救命道具の設置を提起した。その後、すぐの対応で子ども連れの親の方々やハーリー大会でも何名かの方々からお礼の言葉も頂いた。素早い対応に感謝している。現在配置している救命道具を見てみると少し間隔があいているように感じる。万が一海に落ちた場合は緊急を要し、せっかく付けた器具が間に合わなければ意味がない。追加設置できないか伺う。</p> <p>(4) 水釜町民住宅北側に海岸へ降りていく階段がある。車道側へ降りていく階段で外人の方が転倒するのを見かけた。その方は少しふくよかな方でだけが等はなかったが、体重の重い方や年配の方のために、何か所か手すりを付けたほうが良いのではと感じた。取り付けることはできないか。</p> <p>乳がんは女性の9人に1人の割合でかかるといわれている。本町の乳がん検診の現状は。</p> <p>(1) 検診を受けられる年齢は何歳からか。</p> <p>(2) 費用はどのくらいかかるのか。</p> <p>これまでにごみ焼却場は基幹改良工事等に4億5千万円から5億円近くかかっている。もっとごみの減量化に向け延命化を考えなければいけないのでは。嘉手納町は古着の回収を各区の自治会事務所で行ったり、利用できそうな家具等をジモテ</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	3 番 仲村 一	3. ごみ行政 を問う	ィーに出したり、ごみの減量化に取り組んで努力 をしている。令和 4 年 12 月に生ごみの回収実験 を行っているが、本町の今後の取り組みを伺う。	町長 當山 宏
9	11 番 當山 均	1.「防錆施設 建設」準備作 業に着手し た現段階に おいて、政府 に対し各種 環境基準値 の調査及び 調査結果公 開を求めよ	<p>今年 4 月国から説明を受けた際、使用する化学 物質については日本環境管理基準（以下「J E G S」という）に従って処理を行う。例えば、排気 は三段階のフィルターシステムを採用、排水は貯 留分離装置を採用、廃棄物は集積場での集中管理 を行う。などの「地元の懸念に応え、影響を最小 限にするための措置」の説明があった。</p> <p>国の説明内容及び町の考え方については、2 度 にわたり町広報誌に掲載したものの未だ反対の声 は大きいと感じる。それは米軍が P F O S 汚染流 出問題に関して基地内立ち入り調査を認めないな ど環境問題についても秘匿体質であることや、基 地問題に対する政府の消極姿勢へ対する信頼度の 低さの表れだと推測する。</p> <p>環境汚染、安全への不安を残したまま防錆施設 建設が進められるのであれば準備作業に着手した 現段階において、政府に対し各種環境基準の具体 的な監視方法及びその調査結果の公開を求めるこ とが必要との認識に立ち次の質問を行う。</p> <p>(1) 広報かでな 6 月号 (P3) 国からの説明に関す る主な発言要旨に、町からの「有害物質が外部 に漏れていないかどうかのチェックは誰がする のか」との問いに対し、国は「仮に事故が発生 した場合、日米間には既存の合意がある。周囲 の環境に影響を与えるようなことが生じた場合 には速やかに外交ルートを通じて米側からその 情報が提供されることになる・・・」と事故発 生時の対応に関する説明があったことが記載さ れており、町の問いに対する国の明確な返答は 記載されていないが、町はその問いを再度確認 したのか。国からの明確な回答はあったか。</p> <p>(2) 広報かでな 8 月号 (P6) 防錆整備格納庫移設</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	11 番 當山 均	<p>1. 「防錆施設建設」準備作業に着手した現段階において、政府に対し各種環境基準値の調査及び調査結果公開を求めよ</p> <p>2. 町男女共同参画計画の推進に関し</p>	<p>計画に関する記事のなかで、「万が一にも住民に影響を及ぼすような事故や問題が発生することがないように、万全な措置を継続的に講じて貰わなければならない」と町の考えが示されている。</p> <p>当然ながら、住民に影響を及ぼす事故や問題が発生することがあってはならないし、マスコミ等の指摘や数年後に米国での情報公開等で発覚することは言語道断である。</p> <p>排気や排水基準値の厳守、漏出防止策の徹底、有害廃棄物の有無など懸念される環境管理基準に関し、具体的に J E G S のどの基準に従って運用されるのか政府に確認し、町としても把握しておく必要があると考えるが町の見解を問う。</p> <p>(3) 各種環境管理基準値が厳守されているか否かを誰が、いつ（定期的なのか）、どのような方法で調査（監視）するのかを政府に確認を求めたことはあるか。また、その調査結果を公開することも政府に求めるべきだと考えるが町の見解を問う。</p> <p>令和5年度～10年度の6年間を計画期間とする「第2次町男女共同参画計画（以下「第2次計画」という）」が策定され、本計画に基づき様々な施策がスタートしたことを踏まえ次の質問を行う。</p> <p>(1) 第2次計画 基本目標2「男女共同参画推進のための教育・学習の推進」（P17）に関し、小学生低学年・高学年、中学生に対する具体的な学習内容及び年間確保時間、また園児への取り組みを問う。</p> <p>(2) 基本目標5「男女共同参画の視点に立った困難に対する支援・多様性を尊重する環境整備」（P24）の具体的施策の一つに「性的マイノリティに対する支援」が掲げられているが、具体的施策及び取り組み・支援対応を問う。</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	11 番 當山 均	2. 町男女共同参画計画の推進に関し	<p>(3) 現在、県内自治体において「男女共同参画推進条例」を制定している自治体は。</p> <p>(4) 北谷町においては「男女共同参画推進条例」を制定し、推進状況を把握し分析するとともにその実施状況を毎年度公表することを規定している。</p> <p>本町も計画の進捗管理（P34）として、「本計画に基づく施策については推進本部や専門部会において施策の進捗状況の確認・評価を毎年度行う」旨の記載はあるが、毎年度公表する考えもあるのか。</p> <p>(5) 第1次計画においては、「町民に対して男女共同参画社会を一層推進し、その実効性を高めるためには将来的な展望として条例化を検討していく」と明記されていたが、第2次計画では条例制定に関して触れられていない。その理由を問う。</p> <p>(6) 令和3年6月議会一般質問において、「(仮称)町男女平等と多様性を尊重する社会を推進する条例」制定を提案した際には、「新たな計画策定を優先的に取り組む。当該計画推進のための環境・体制づくりに努め計画の実現に取り組んでいくことが現時点では重要。推進体制等が整った状況で、町民や事業所に対して努力を義務づける条例制定の検討段階に入っていく。提案の多様性を尊重する社会を推進する条例は内容的にも広範囲に及ぶことから内容等の調査・研究が必要」と条例化は時期尚早との答弁であった。</p> <p>未だ推進体制等は整っていないと判断するならば町民や事業所に対して努力を義務づける条項は省いてでも、町民に対し本町も男女共同参画施策を積極的に推進していく姿勢を示すためにも条例化は必要だと考える。</p> <p>については、第2次計画が策定されたこと及び男女共同参画社会を取り巻く環境の変化を踏まえ、北谷町及び宜野湾市男女共同参画推進条例</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	11 番 當山 均	3. 自治会長報酬額の増額に向けた検討経緯及び結論を問う	<p>等を参考に「町男女共同参画推進条例」の制定を求める。町の見解を問う。</p> <p>令和4年12月議会一般質問において、自治会長の報酬額について消費税の段階的増税、消費者物価の高騰傾向、社会保障費の負担増など社会一般の情勢に適応した妥当な自治会長の報酬月額に向けて増額を提案したところ、「10年近く給与が同額であることから、見直しについては社会情勢の変化等を踏まえ検討の余地がある」との答弁があった。</p> <p>早や1年が経ったことから、自治会長報酬月額の増額に向けた検討経緯及び結論を問う。</p>	町長 當山 宏
10	9 番 新垣貴人	<p>1. スポーツ推進について</p> <p>2. 自主財源の確保について</p> <p>3. 商工業の活性化について</p> <p>4. 健康寿命の維持について</p>	<p>(1) 公費支出による、ゆんたんざパークゴルフ場の利用実績は。</p> <p>(2) 健康増進の観点から今後の利用拡大へ向けての取り組みは。</p> <p>(3) 北谷町のパークゴルフ場とも利用協定を提案するが見解は。</p> <p>(1) 本町でネーミングライツが可能な公共施設は。</p> <p>(2) ネーミングライツ制度を提案してきたが検討状況は。</p> <p>(1) 健康ポイントを導入し、町内店舗で活用できるポイント制度を提案してきたが、その検討状況は。</p> <p>(2) 新町通りで、毎月1回日曜日の歩行者天国の実施を提案するが見解は。</p> <p>(1) フレイル予防対策への取り組みは。</p> <p>(2) フレイル予防応援プログラムの策定を提案するが見解は。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
11	1 番 嵩原妙子	<p>1. がん患者アピアランスケア用品購入費補助について</p> <p>2. ヤングケアラー支援について</p> <p>3. 生理用品無料配布について</p> <p>4. 災害時の保育園体制について</p>	<p>日本で長年の死因の第1位はがんであり、男性の3人に1人、女性の2人に1人が生涯のうちのがんに罹ると言われている。去った10月はピンクリボン運動月間で乳がんの知識を広め、早期受診を推進する啓蒙キャンペーンが今年も世界規模で行われた。乳がんや子宮がんといった女性特有のがんをはじめとする、がん治療に伴う頭皮の脱毛や乳房切除などの外見の変化に悩む方々が外見の変化を気にせずスムーズな社会生活が送れるように、医療用のウィッグや乳房補正具等の購入費補助が全国の自治体で実施されている。女性の健康と自立を応援するために以下を問う。</p> <p>(1) 本年、閣議決定された向こう6年間のがん対策の指針となる第4期がん対策推進基本計画の概要は。</p> <p>(2) アピアランスケアの概要を問う。</p> <p>(3) 県内自治体の動きは把握しているか。</p> <p>(4) 嘉手納町でも医療用のウィッグや乳房補正具等の購入費補助ができないか、見解を問う。</p> <p>前回の9月定例会一般質問に引き続き、ヤングケアラーで悩む児童生徒を支援するための取り組みについて、その後の進捗状況を問う。</p> <p>女子児童生徒の健やかな学校生活の一環として町内の各小中学校の女子トイレに生理用品の無料配布が実施され、関係機関の取り組みに改めて感謝申し上げる。その後の状況を問う。</p> <p>年々、世界中で気象変動が激しくなる傾向にあり、ニュースなどの報道で台風や地震、大雨による洪水等の災害被害が時期を問わず起きている。本年8月の台風6号は県内をはじめ、嘉手納町でも多くの被害が発生した。町民の生命を守るための安全対策を確認していきたいことから、台風などの災害時の保育園体制についての内容と取</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
11	1 番 髙原妙子	5. 物価高騰 対策について	<p>り組みを伺う。</p> <p>日本の経済は、長いコロナ禍を乗り越え、本格的な経済再生に向けた歩みを始めようとしている一方、長期に及ぶ物価高騰で日々の生活は大きな負担を抱えている。今般、政府が決定した「デフレ完全脱却のための総合経済対策」では、各地域の自治体の実情に合わせて支援策を進めていくことができる「重点支援地方交付金」の予算が追加された。以下を伺う。</p> <p>(1) 「重点支援地方交付金」の概要を伺う。</p> <p>(2) 交付金を効果的に活用するための具体策は検討しているか伺う。</p>	町長 當山 宏
12	15 番 石嶺邦雄	<p>1. 本町の職員人事配置は</p> <p>2. スポーツツーリズムの促進を</p>	<p>本町の財産ともいえる職員、人材の活用については、職場活動、職員研修、人材評価に基づき、年齢にとらわれない昇任や適材適所の配置などによる。現在いる人材を最大限に活用して行政運営を図っていくことが重要だが、そこで伺う。</p> <p>(1) 現在、何年をめどに人事異動が行われているか。(短くて何年。長くて何年。)</p> <p>(2) 職員の希望に配慮した異動となっているのか。また、現在はどの時期にどのような手法で希望の聞き取りをしているのか。</p> <p>(3) 職場の人間関係、その他いろいろな理由により、早期に退職する職員などもこれまでにはいたかと思われるが、希望の聞き取りの中に、どうしても避けたい部署も聞き取りに含めることはできないか。</p> <p>現在、野球場及び兼久体育館のリニューアルと続くが、今年3月の嘉手納町スポーツツーリズム基本構想を受けて伺う。</p> <p>(1) 野球場、兼久体育館、屋良城跡公園のリニューアルと続くが、今後、陸上競技場のリニューアルはどのように考えているか。</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	15 番 石嶺邦雄	2. スポーツ ツーリズム の促進を	(2) 基本構想の中で、消費額に占める約 50%が宿泊費、経済波及効果を高めるためには、宿泊施設が重要になるとあるが、ホテル誘致の考えは。 (3) ホテル誘致に関しても外資を入れるとかではなく、P F I で町内企業に建築させ運営を任せるような手法で誘致を検討できないか。	町長 當山 宏
13	13 番 奥間常明	1. 実質無利 子・無担保融 資(ゼロゼロ 融資) 返済 の町内中小 企業者の実 態は 2. さんさん 保育所駐車 場予定地の 利活用につ いて	政府による新型コロナウイルス対策として、実施されたこの事業は、コロナ禍で経営不振にあえぐ事業主の皆様方にとっては、まさに窮地から一転、経営改善に繋がる救いの施策であった。 しかしながら、借りたのは返さないといけない、今年の夏ごろから本格的な返済が開始されている。マスコミ報道等によるとコロナ禍のダメージがあまりにも大きく、多くの事業所が経営困難から脱しきれずにあるとも言われている。 これに対して、政府は返済が困難な企業の借り換えを保証する支援制度を設けたが、それでも諸事情で厳しい経営状況は好転しないのが実状かと思慮する。そこで、次の点について伺う。 (1) 町内事業所の融資件数は。 (2) 融資総額、平均額、最高額、最小額は。 (3) 返済状況は。 (4) 返済に関する相談件数は。 (5) 倒産(閉店)件数は。 (6) 行政側の支援策として、税の延納・分納・延滞金の免除等あらゆる手段を講ずるべきと考えるが。 西浜区の子ども達(区外も参加可能)を中心に放課後居場所作りとして、「ウムウム倶楽部」がスタートした。地域から大変好評いただいている。 しかしながら、「児童館的」使用状況とは、未だ不十分の感が否めない。 やはり、不特定多数の子ども達が、無料でほぼ通年を通して、安心安全な環境で過ごす事ができ	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
13	13 番 奥間常明	<p>2. さんさん 保育所駐車 場予定地の 利活用につ いて</p> <p>3. さんさん 保育所の開 園時間変更 について</p> <p>4. 水道料金 値上げにつ いて</p>	<p>る施設が望ましい。</p> <p>そこで、さんさん保育所駐車場予定地に1階部分を駐車場、2階3階部分を小規模でも構わないので、ひとり親家庭や生活保護家庭の子ども達、外国籍保護者の子ども、障がい児、家庭での学習環境が整わず学校の勉強についていけない学習困難児などさまざまな困難を抱える子ども達に無償の学習塾、学習支援、社会体験学習、食育等を通して生きる力を育む支援を実施する「子ども未来センター」または「かでなキッズ支援室」を提案する。</p> <p>あくまでも、現場で勤務されている保育士のご意見を尊重することが最優先だが、それを踏まえて開園時間を早めてはどうか提案する。</p> <p>その理由として、出勤時にお子さんを預ける親御さんにとっては、1分でも早いと大変ありがたいことだと思う。検討する価値はあると思うがいかがか。</p> <p>令和5年9月定例会において「水道料金値上げに関する条例改正」が賛成多数で可決された。反対者は私1人であった。</p> <p>昨今の値上げラッシュにおいて、その反面国民生活を守ると言いつつも、本来国民が切望し続けている恒久減税には一切手を付けず、国民に対して「麻縄でジワリジワリ首を締め付けるにも等しい」弱者無視の政府と一部キャリア官僚による悪政と言われても致し方ない始末だ。</p> <p>さらには、医療費の負担増、処方箋薬で、医薬品の供給不足から価格の安いジェネリック医薬品(後発薬)を中心に、約3,100品目が品薄になって価格が高騰し、これまでの3倍近くも値上がりし、特に高齢者にとっては、死活問題となっている。それに輪をかけて、光熱水費イコール生命インフラ公共料金の値上げ、追い打ちをかけるように、</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
13	13 番 奥間常明	<p>4. 水道料金 値上げにつ いて</p> <p>5. 交通安全 対策につい て</p>	<p>沖電託送料金改定に伴う電気料金の更なる値上げとなれば「お先真っ暗ヤミヌユー」「チャーンナイビラン」で御座います。これらの現状を踏まえ役場として、「国、県には頼れない」独自の支援策を打ち出す事が急務と考えるが、次の点について伺いたい。</p> <p>(1) これまで同様に、基地使用対価料収入分から消費税分は、課税せず町民に還元する計画があれば、時限的ではなく恒久的非課税とするのか。</p> <p>(2) 11月7日に、県企業局が市町村に対して説明会が行われたが、詳細な内容説明を求める。</p> <p>(3) 基地内P F A S 土壌調査費が、引き上げ料金の中に含まれているのか、そうであれば、私は基地を提供している国が全額負担すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(4) 嘉手納町は、県内でも水道料金が廉価なことは、知っている人は知っているが、知らない人は知らない。もっとPRすべきではないか。それにより、転入者促進の誘い水になると思われるが。</p> <p>(1) 西区と西浜区の境目、町道 50 号線と 53 号線が交差する交差点付近に交通安全対策が図られないか。「子ども達の飛び出しに注意」を示す、子どものキャラクター看板等設置を。</p> <p>(2) 同地点に設置されているカーブミラー(I 氏宅付近)は、昭和 63 年設置で、ポール根っこ部分が、経年劣化で腐食し倒れる危険性が高い、早急な取り替えを。</p> <p>(3) 西浜区コミュニティセンター付近交差点の交通安全対策は、以前から求められているが、進捗状況を伺う。</p> <p>(4) 町道 48 号線西区側は、線形が蛇行し一部については、西浜区向けの T 氏宅付近は、向かい側歩道が死角となり、速度をあげて突っ込んでくる走行車がよく見受けられ、反対側歩道の歩</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
13	13 番 奥間常明	5. 交通安全 対策について	行者が常に危険な状態である。そこで、カーブミラーと徐行表示設置を要望する。	町長 當山 宏
14	6 番 宇榮原京一	1. 本町の人 材育成事業 について 2. 観光振興 に関して 3. かでな未 来館の利用	<p>人材育成とは、国際社会で通用する能力やグローバルな視点、経験を持って地域社会や地域経済の活性化や持続的発展に貢献できる人材を育成することだと考える。町民を支援する人材育成事業について以下を問う。</p> <p>(1) 嘉手納町人材育成会運営について。</p> <p>①人材育成会組織構成について。</p> <p>②貸与金の償還滞納状況について。</p> <p>③助成事業の補助対象条件と令和3・4年度の実績は。</p> <p>④報奨金の対象条件と令和3・4年度の実績は。</p> <p>⑤交流事業の成果と課題は。</p> <p>(2) 嘉手納町雇用促進資格取得支援事業の令和3・4年度の実績と課題は。</p> <p>(1) 本町の誇れる観光資源は。</p> <p>(2) 道の駅「かでな」は年間52万人が訪れるが、町全体にとってのメリットは何か。</p> <p>(3) これまでの本町の観光振興計画書策定に関わる費用はいくらか。</p> <p>(4) 計画書に基づく事業効果及び達成率は。</p> <p>(5) 本町の観光促進に民泊事業を推奨する。</p> <p>①本町には宿泊施設が少ないと思われる。観光客の滞留、滞在、リピーターの定着を促進するため民家(空家含む)、民地を活用した官民共同での民泊事業が展開できないか。</p> <p>②これまでの検討結果に対しての見解とその根拠は。</p> <p>③町民アンケート及び他自治体の調査結果は。</p> <p>かでな未来館は、旧軍飛行場用地問題の解決を図ることを目的に昨年9月に開館した。開館から</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
14	6 番 宇榮原京一	状況は	1 年が経過するが施設のそれぞれの利用状況と課題について伺う。	町長 當山 宏
15	14 番 田崎博美	1. 米軍基地被害難民の救済措置について 2. 法定外普通税及びふるさと納税を活用し自主財源の確保を図れ	(1) 嘉手納町は基地から発生する災害について、いかなる対応、措置を考えているか伺う。 (2) 嘉手納町では騒音被害の緩和のために空調機器の使用頻度が増えることにより、エネルギー使用料金があがるため、第二種区域防音住宅空調機器稼働費補助金 710 万円以上支出しているが、施策と内訳について伺う。 (3) 住民の米軍基地被害から受ける痛みや過度な負担を緩和する対策は考えていないか伺う。 (1) 法定外普通税の導入が図れないか伺う。他自治体における導入状況等を注視していきたいといっているが、進捗状況を問う。また、ふるさと納税の過去 3 年分の実績と取り組み状況について伺う。 (2) 市町村長は(総務大臣)の評価基準によって、固定資産の価格を決定しなければならない。この総務大臣の定める評価基準は、全国的に統一し、市町村間の不均衡をなくそうとするものと記載されている。ひるがえって嘉手納町でも賦課、期日、評価及び価格の決定が適性になされているか伺う。 (3) 土地の評価は原則として各一筆ごとに評点数を設け、その評点数により別途売買実例額から求める評点一点あたりの価格を乗じて一筆ごとの評価を求めて行っているか。	町長 當山 宏